

## かわさき教育プラン-重点施策評価シート（平成26年度）その1

<b>重点施策5</b>	<b>安全・安心で快適な教育環境を創る</b>	<b>プロジェクト実施体制</b>	
<p>●重点施策の目指す方向（成果）</p> <p>・安全・安心で快適な環境の中で学ぶことができるよう、安全性や機能性の高い学校をつくる。</p>		メンバー	<p>教育環境整備推進室担当課長、生涯学習推進課長、教育改革推進担当課長、企画課担当課長、総合教育センター室長、指導課長、健康教育課長</p>
<p>●実施方法</p> <p>・学校施設の安全性、快適性、機能性を高めるための整備を計画的に実施する。</p> <p>・学校施設内や通学路等において、子どもたちを見守ることや、緊急時に的確で素早い対応ができる体制づくりを行う。</p> <p>・大規模住宅開発等による人口増加地域については、学校施設の整備や通学区域の検討などにより、良好な教育環境の確保に努める。</p>			

## プロジェクトによる総合評価

## ●重点施策の実施結果

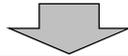
- ・長期的な視点による施設マネジメントを行うため、学校施設長期保全計画に基づき、校舎8校、体育館5校の再生整備の設計着手を行うなど、計画的な保全を実施した。
- ・学校のトイレ快適化工事（7校25箇所）やエレベータ整備（5校）などを行い、環境改善整備及びバリアフリー化を進めた。
- ・既存学校施設再生整備事業のモデル事業として西丸子小、久末小の3年目工事及び4年目設計を完了した。
- ・太陽光発電既設校への蓄電池の設置（3校）や体育館への灯油式発電機設置（22校）、体育館・格技室の天井等落下防止対策（体育館2校・格技室15校）を行うなど、学校施設の防災機能の強化を図った。
- ・トレーナーによるAEDの研修の実施（実施率95.4%）や校外学習実施時にAEDを携行（延べ24回貸出）することによって、緊急時に的確で素早い対応ができる体制の充実を図った。
- ・大規模住宅開発等による児童生徒の急増対策として、新川崎地区及び小杉駅周辺地区における小学校新設に向けた取組を推進するとともに、子母口小と東橋中の合築整備、渡田小や白鳥中などの校舎増築工事などを実施し、良好な教育環境の確保に努めた。
- ・平成26年4月から校務支援システムが本稼働し、出席簿や通信票などのリクエスト研修を304回実施した。また、情報活用能力に関するカリキュラムについて、次年度以降の研究の方向性を確認した。
- ・防災教育研究推進校を41校指定し、災害安全に向けた取組を推進した。

## ●総合評価

- ・学校トイレの快適化やエレベータ設置などを予定どおり整備したことで、児童生徒が快適に学習に取り組める学習環境の整備を進めることができた。
- ・教育環境の改善と長寿命化による財政支出の縮減及び平準化を図るため、再生整備の設計を実施するなど、学校施設長期保全計画に基づく取組を推進することができた。
- ・防災教育研究推進校の指定により学校防災教育の充実を図るとともに、防災備蓄物資の配備による大規模災害時を想定した環境整備を進めるなど、学校の防災管理体制の整備を推進することができた。

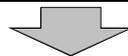
## ●課題・問題点

- ・児童生徒の増加対策等の個別の課題解決に向けた取組等を踏まえ、学校施設長期保全計画に基づき、改修による再生整備と予防保全等を中長期的な視点に立って計画的に実施していく必要がある。
- ・今後も人口が増加することが予想されている本市では、増加した児童生徒を受け入れるため、大規模共同住宅などの開発状況等を的確に把握するとともに、学校の新設、教室の転用、学区変更、校舎の増築などによる、良好な教育環境を確保する整備を適切な時期に適切な手法で行う必要がある。
- ・東日本大震災を踏まえ、非構造部材の耐震化による安全性の確保や非常用電源の確保、学校体育館の防災機能強化などによる避難所機能を強化するための整備を継続して進める必要がある。
- ・学校における安全対策や防災力強化のため、地域における様々な危険から子どもたちを守る取組や、防災教育の実践研究などを推進する必要がある。



## 川崎市教育改革推進会議における意見内容

- ・地震等の災害に備え、防災教育や学校施設防災機能の強化が重要である。



## 課題への対応と今後の方向性

- ・学校施設の老朽化対策や質的向上等について、学校施設長期保全計画に基づき、改修による再生整備と予防保全を計画的に進める。また、既存校へのエレベータの設置により学校のバリアフリー化を推進する。
- ・良好な教育環境を維持するため、人口推計を踏まえ、児童生徒の増加傾向を注視しながら、教室の転用や校舎の増築、小学校新設に向けた取組など、学校や地域の実情を踏まえた対応策を検討する。
- ・体育館の照明等の落下防止などの非構造部材の耐震化や複数熱源の整備など、学校施設の防災機能の向上に向けた取組を推進する。また、防災教育研究推進校の指定による研究の推進や学校防災担当者に対する研修の充実により、学校の防災力や子どもたちの防災意識の向上に取り組む。

## ●展開する事業の進捗状況（事業目標）

事業名	①学校施設の効率的マネジメント	所管部署	教育環境整備推進室
事業の概要	<p>長期的な視点による施設マネジメントを行うため、これまでの建て替え中心の施設整備から、改修による再生整備へ手法の転換を図り、早期かつ効率的に施設の長寿命化を図るとともに、教育環境の改善と環境対策を併せて推進します。また、施設の現状把握を進め、計画的な保全手法の導入に向けた取組を推進します。</p> <p>また、学校トイレの環境改善整備やエレベータ設置によるバリアフリー化など、児童生徒が快適に学習に取り組める学習環境の整備を進めます。</p>		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	学校施設長期保全計画の策定	学校施設長期保全計画に基づく計画的な保全の実施 ・校舎(8校)・体育館(5校)の再生整備の設計着手等	・学校施設長期保全計画に基づく計画的な保全に向けた取組を実施した。 ・Cグループ校舎8校、体育館5校の設計着手
2	既存学校施設の再生整備モデル事業の2年目工事完了(西丸子小、久末小)	モデル事業の3年目工事(西丸子小、久末小)	モデル事業の3年目工事・4年目設計完了(西丸子小、久末小)
3	学校トイレの環境改善の実施(39校、137ヶ所完了)	学校のトイレ環境改善の整備の推進(7校、25ヶ所)	学校のトイレ環境改善の整備の推進(7校、25ヶ所)
4	既存校のエレベータ設置(15校設置)	既存校のエレベータ設置の推進(3校)	既存校のエレベータ設置の推進(5校)
5	校内LAN整備の完了		
6	太陽光発電既設校への蓄電池設置(3校)	太陽光発電既設校への蓄電池設置(3校)	太陽光発電既設校への蓄電池設置(3校)
7	体育館への灯油式発電機設置(7校)	体育館への灯油式発電機設置(22校)	体育館への灯油式発電機設置(22校)
8	体育館・格技室の天井等落下防止対策(体育館3校)	体育館・格技室の天井等落下防止対策(体育館1校・格技室17校)	体育館・格技室の天井等落下防止対策(体育館2校・格技室15校)
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
<p>●「学校施設長期保全計画」に基づき、改修による再生整備及び予防保全を計画的に進めていくとともに、エレベータ設置によるバリアフリー化、トイレ環境の改善や学校施設の防災機能の強化などの学習環境の整備を進め、長期的な視点で学校施設の効率的なマネジメントを行う。</p>			

## 重点施策5

事業名	②児童生徒の増加に対応した教育環境の整備	所管部署	企画課・教育環境整備推進室
事業の概要	大規模な住宅開発に伴い、いわゆる「子育て世代」を中心に市外からの人口流入が続いており、児童生徒も増加傾向にあります。こうした児童生徒の増加を背景として、一部の学校では将来的な教室不足が見込まれるなど教育環境への影響が懸念されているため、校舎増築等の施設整備による教室等の確保や通学区域の見直し、学校の分離新設について、全庁的な視点から検討と取組を進めます。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	新川崎地区・小杉駅周辺地区の小学校新設に向けた取組	新川崎地区・小杉駅周辺地区の小学校新設に向けた取組	●新川崎地区・小杉駅周辺地区の小学校新設に向けた取組を推進した。
2	子母口小と東橋中の合築整備着手	子母口小と東橋中の合築整備完了	●子母口小と東橋中の合築整備実施
3	校舎増築工事 ・はるひ野小中完成	/	/
4	校舎改築工事 ・大谷戸小完成 ・上丸子小着手	校舎改築工事 ・上丸子小完成	●校舎改築工事 ・上丸子小学校完成
5	校舎増築・体育館改築工事 ・久末小基本・実施設計着手	校舎増築・体育館改築工事 ・久末小基本・実施設計完了	●校舎増築・体育館改築工事 ・久末小基本・実施設計完了
6	児童生徒の増加地域ごとの対応の検討及び校舎増築工事の実施 ・今井小完成 ・末長小完成 ・東門前小完成 ・下沼部小完成 ・宮前小完成 ・苅宿小完成 ・日吉中完成 ・犬蔵小完成 ・宮前平中完成 ・渡田小基本・実施設計完了 ・白鳥中基本・実施設計完了 ・片平小基本・実施設計完了 ・日吉小基本・実施設計着手 ・御幸小基本・実施設計着手 ・大師中基本・実施設計着手 ・富士見中基本・実施設計着手	児童生徒の増加地域ごとの対応の検討及び校舎増築工事の実施 ・渡田小完成 ・白鳥中完成 ・片平小完成 ・日吉小完成 ・御幸小工事着手 ・大師中工事着手 ・富士見中工事着手 ・古川小基本・実施設計着手 ・下沼部小基本・実施設計着手 ・臨港中基本・実施設計着手	●児童生徒数の動向等に応じた地域ごとの対応の検討及び校舎増築工事の計画的な実施 ・渡田小完成 ・白鳥中継続 ・片平小完成 ・日吉小完成 ・御幸小工事着手 ・大師中工事着手 ・富士見中工事着手 ・古川小基本・実施設計着手 ・下沼部小基本・実施設計着手 ・臨港中基本・実施設計着手
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●人口動態や開発情報等の状況を十分に把握した上で、子どもたちの良好な教育環境を確保するため、引き続き増築や小学校新設に向けた取組等を計画的に進めます。			

事業名	③教育の情報化を推進するICT機器の整備等	所管部署	情報・視聴覚センター
事業の概要	「教育の情報化推進計画」に基づき、ICT(Information and Communication Technology=情報通信技術)機器整備や研修の充実を図り、情報活用能力の育成、指導力の向上、子どもとふれあう時間の確保をめざします。また、全市立学校において校内LAN(ローカル・エリア・ネットワーク)の構築を行います。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	教育の情報化推進計画に基づいた研究、研修の充実及び機器の整備	教育の情報化推進計画に基づいた研究、研修の充実及び機器の整備推進	●小学校34校のコンピュータールームの機器入替 ●校務用コンピュータ1690台の入替 ●普通教室等コンピュータ4315台の入替 ●夏季、リクエスト、夜間、休日研修を48回開催し、延べ1003名の教職員が受講
2	校務支援システムの本稼働に向けた機能のカスタマイズ、研修、支援体制の構築	校務支援システムの本稼働における円滑な運用、運用後のフォローアップ及び公簿関連帳票のカスタマイズ	●校務支援システム出席簿、小学校通票本稼働後のリクエスト研修を304回実施した。
3	/	情報活用能力に関するカリキュラムの検討	●カリキュラムセンターと協力し、次年度以降の研究の方向性を確認した。
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●「教育の情報化推進計画」に基づいてICT機器の整備、研究、研修の充実、校務支援システム指導要録、保健帳票等の本稼働を実施する。			

## 重点施策5

事業名	④地域を主体とした学校施設の有効活用事業の推進 (重点施策2-⑨、6-⑭)	所管部署	生涯学習推進課・教育環境整備推進室
事業の概要	市民が学び、活動する環境を創るため、校庭、体育館、プール、特別教室等の学校施設を生涯学習、スポーツ、市民活動などの場として有効に活用します。また、地域主体の管理による地域の活動拠点の整備を推進します。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	土日、夜間などの地域を主体とした学校施設有効活用事業の推進	土日、夜間などの地域を主体とした学校施設有効活用事業の推進	●「学校施設開放運営委員会」による学校施設の有効活用を推進した。
2	学校施設有効活用事業の推進に向けた学校施設の整備	学校施設有効活用事業の推進に向けた活用モデル事業の推進	●小学校1校において、特別教室の開放管理と施設を活用した生涯学習事業の実施をモデル事業として推進した。
3	学校体育館の受益者負担の検討、導入	学校体育館の受益者負担の適正な運用	●体育館使用料徴収に係る手続きの定着に向けて、手引きの作成、周知等を行った。
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●学校施設の有効活用を推進するとともに、学校施設開放運営委員会による自主的な運営を推進する。			

事業名	⑤災害安全の推進	所管部署	健康教育課・指導課・生涯学習推進課
事業の概要	東日本大震災の被害や発生時の状況等を踏まえた学校における防災力の強化のため、防災教育研究推進校の指定による実践研究や防災備蓄物資の整備を推進します。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	防災教育研究推進校の指定(59校)	防災教育研究推進校の指定(40校)	●防災教育研究推進校を指定(41校)し、学校の実態に応じた特色ある取組の研究および実践を推進した。
2	防災についての専門的知識と実践力の育成(年間5回程度研修会開催)	防災についての専門的知識と実践力の育成(年間5回程度研修会開催)	●防災についての専門的知識と実践力の育成(年間4回程度研修会開催)した。
3	防災関係資料の充実(「防災学習テキスト」及び「防災リーフレット」の配布)	防災関係資料の充実(「学校安全の手引き」の改訂、「防災学習テキスト」及び「防災リーフレット」の配布)	●防災関係資料の充実(「学校安全の手引き」の改訂、「防災学習テキスト」及び「防災リーフレット」の配布)を行った。
4	防災備蓄物資の整備(小中学校及び特別支援学校の児童生徒の3割分、帰宅困難になる可能性のある高等学校の生徒分の水、アルファ米、栄養補助食品、氷砂糖、防寒シート及びLEDランタンを配備)	防災備蓄物資の整備(附属中学校生徒分の水、アルファ米、栄養補助食品、氷砂糖、防寒シート及びLEDランタンを配備)	●防災備蓄物資の整備(附属中学校生徒分の水、アルファ米、栄養補助食品、氷砂糖、防寒シート及びLEDランタンを配備)を行った。
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●防災教育研究推進校を指定(41校)し、特色ある取組の研究および実践を推進するとともに、防災についての専門的知識と実践力の育成に努める。			

事業名	⑥地域における防犯対策の充実(重点施策2-⑥)	所管部署	健康教育課・指導課・生涯学習推進課
事業の概要	地域における防犯への取組として、PTAや地域等との連携により、登下校時の安全指導や地域巡回、危険箇所の点検などを行います。また、併せて児童生徒等への防犯意識の啓発について、さまざまな機会を通じて実施していきます。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	スクールガード・リーダーの配置(18人)	スクールガード・リーダーの配置拡充(新規2人 計20人)	●スクールガード・リーダーを20人配置した。
2	地域交通安全員(103箇所)の配置	地域交通安全員の配置箇所の状況調査、検討による適正配置の推進	●地域交通安全員の適正配置に努め98箇所に配置した。
3	通学路安全対策会議での議論を踏まえた危険箇所の改善	通学路安全対策会議での議論を踏まえた危険箇所の改善	●通学路安全対策会議での議論を踏まえた危険箇所の改善を推進した。
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●通学路安全対策会議での議論を踏まえた危険箇所の改善を推進する。地域交通安全員の配置箇所の状況調査、検討により適正配置を推進する。			

## 重点施策5

事業名	⑦緊急対応への体制づくり(重点施策2-⑦)	所管部署	健康教育課
事業の概要	重大な事件・事故・災害に際して、医療的観点も含めた子どもの心のケアに取り組みます。 また、学校施設は子どもを含む地域の方々の集まる施設であるため、緊急時の救急処置を行えるようにAED(自動体外式除細動器)を整備するとともに、使用するための研修等も実施します。		
	これまでの取組と現状	平成26年度事業目標	平成26年度進捗状況
1	心の緊急支援チームの運用	心の緊急支援チームの運用	●心の緊急支援チームのあり方について検討を進めた。
2	AEDの維持管理	AEDの維持管理	●消耗品の定期交換などAEDの適切な維持管理を行った。
3	校外活動等に携行する貸出用AEDの配備	校外活動等に携行する貸出用AEDの配備	●校外学習に携行するためのAEDの貸し出しを延べ24回行った。
進捗状況を踏まえての次年度の方向性			
●心の緊急支援チームについては、他事業の状況を調査し、事業のあり方を検討する。AEDについては、トレーナーによる研修を推進する。			

## かわさき教育プラン-重点施策評価シート（平成26年度）その2

重点施策5	安全・安心で快適な教育環境を創る
-------	------------------

## ●「かわさき教育プラン」に例示されている指標の推移

指標名	小・中学校の耐震化率（各年度4月1日基準）	数値の出典	教育委員会調べ	
指標の定義 ・指標式(単位)	耐震性を確保した校舎・体育館の割合 (改築・大規模改修によるものは、完成年度ベース)			
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
目標値	98.7%	100%	100%	100%
実績値	98.7%	100%	100%	100%
指標名	小・中学校の普通教室の冷房化率	数値の出典	教育委員会調べ	
指標の定義 ・指標式(単位)	小中学校における普通教室冷房化の割合 冷房化している普通教室 / 普通教室 (改築・大規模改修によるものは、着工年度ベース)			
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
目標値	100%	100%	100%	100%
実績値	100%	100%	100%	100%
指標名	学校トイレ整備事業のトイレ快適化整備済校数	数値の出典	教育委員会調べ	
指標の定義 ・指標式(単位)	小中学校におけるトイレ快適化工事実施済校数			
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
目標値	55校	65校	72校	79校
実績値	52校	65校	72校	79校
指標名	小・中学校のエレベータ設置校数	数値の出典	教育委員会調べ	
指標の定義 ・指標式(単位)	小中学校におけるエレベータ設置校数 (改築・大規模改修によるものは、仮設校舎での設置を含む)			
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
目標値	72校	75校	77校	90校
実績値	72校	79校	87校	98校
指標名	小・中学校の窓アルミサッシ化率	数値の出典	教育委員会調べ	
指標の定義 ・指標式(単位)	小・中学校における校舎外側の窓をアルミサッシ化した学校の割合 窓アルミ化校数 / 小中学校数(164校)			
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
目標値	95.1%	96.3%	98.2%	100%
実績値	96.3%	98.8%	100%	100%
指標名	情報の集め方や調べ方がわかるようになったと思う割合	数値の出典	学習状況調査	
指標の定義 ・指標式(単位)	学習状況調査のなかで、「情報の集め方や調べ方がわかるようになったと思う」と回答した児童の割合 *上記の間について、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」と回答した児童の割合			
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
目標値	76%	77%	78%	79%
実績値	74.7%	75.6%	79.3%	79.6%
指標名	AEDの使用に関する研修率	数値の出典	AEDトレーナー貸出 申請書まとめ	
指標の定義 ・指標式(単位)	小・中学校におけるAEDの研修実施校の割合			
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
目標値	33%	66%	100%	100%
実績値	86.4%	90.3%	94.2%	95.4%